



平成24年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年12月2日

上場会社名 モロゾフ株式会社
 コード番号 2217
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 尾崎 史朗
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

上場取引所 東・大
 URL <http://www.morozoff.co.jp/>
 (TEL) 078-822-5000
 配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年1月期第3四半期の業績（平成23年2月1日～平成23年10月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第3四半期	17,102	△2.0	△239	-	△189	-	△254	-
23年1月期第3四半期	17,451	△3.3	△646	-	△620	-	△398	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年1月期第3四半期	△7.02	-
23年1月期第3四半期	△10.98	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年1月期第3四半期	18,263	10,313	56.5	284.45
23年1月期	19,412	10,761	55.4	296.80

(参考) 自己資本 24年1月期第3四半期 10,313百万円 23年1月期 10,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年1月期	-	0.00	-	4.00	4.00
24年1月期	-	0.00	-		
24年1月期(予想)				4.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有・無

3. 平成24年1月期の業績予想（平成23年2月1日～平成24年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,200	△1.7	720	80.0	730	71.6	220	49.7
								6.07

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更： 有・無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年1月期3Q	36,692,267株	23年1月期	36,692,267株
24年1月期3Q	434,489株	23年1月期	434,626株
24年1月期3Q	36,257,386株	23年1月期3Q	36,280,947株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に関しましては、3ページ【当四半期の業績等に関する定性的情報】

(3) 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
販売実績	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みからの復興が進み、生産面を中心に持ち直しの動きが広がってきましたが、欧州を中心とした金融不安や円高の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況のもとで、当社はお菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢とし、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、「すべてはおお客様の笑顔のために」を基本とし、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、東京土産市場向け新商品などの新規事業分野での売上や「モロゾフグランTOKYO」などの新業態ショップの売上が好調に推移しました。その他新規店、改装店のオープンもありましたが、3月までの東日本大震災による影響が大きく、当第3四半期累計期間の売上高は17,102百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

損益面におきましては、売上原価率の改善、経費の削減や人件費抑制などの効果はあったものの、減収の影響などにより、営業損失は239百万円（前年同期は646百万円の損失）、経常損失は189百万円（前年同期は620百万円の損失）となりました。四半期純損失につきましては、東日本大震災の影響による特別損失の計上はあったものの、254百万円（前年同期は398百万円の損失）となりました。

[菓子部門]

干菓子につきましては、東京土産市場向け新商品「コルネ de コルネ東京」をはじめとした焼菓子の売上好調などの増収要因はありましたが、震災による店舗の休業、消費マインド低下による影響は大きく、前年同期を若干下回る売上高となりました。洋生菓子につきましても、カスタードプリンをはじめとするチルドデザート的好調や創立80周年記念催事の貢献はあったものの半生菓子などが低調に推移し、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、菓子売上高は15,793百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

[喫茶・レストラン部門]

店舗の改装、メニュー再編、集客イベントの開催などにより売上拡大を図りましたが、一部退店に伴う売上減少や震災の影響もあり、喫茶・レストラン売上高は1,309百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(業績の季節的変動等について)

当社の売上高は季節的変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマス等の大きなイベントが少ない第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ1,148百万円減少し、18,263百万円となりました。資産の増減の主なものは、有価証券の増加額1,400百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,965百万円であります。負債は前事業年度末に比べ701百万円減少し、7,949百万円となりました。これは主に賞与引当金の増加額219百万円、未払法人税等の減少額286百万円、支払手形及び買掛金の減少額249百万円、長期借入金の減少額201百万円によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ447百万円減少し、10,313百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額401百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1,250百万円増加し、当第3四半期会計期間末には2,349百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失の計上、売上債権の減少、たな卸資産の増加等により、2,105百万円の収入（前年同四半期累計期間は2,608百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得・売却及び償還による純支出、有形及び無形固定資産の取得・売却による純支出等により、482百万円の支出（前年同四半期累計期間は534百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出、配当金の支払等により、372百万円の支出（前年同四半期累計期間は791百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年8月31日に発表いたしました平成24年1月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業損失及び経常損失は459千円、税引前四半期純損失は44,711千円、それぞれ増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は56,457千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	849,585	798,853
受取手形及び売掛金	1,644,637	4,609,754
有価証券	1,700,193	300,148
商品及び製品	1,745,528	1,971,278
仕掛品	975,125	214,427
原材料及び貯蔵品	425,677	362,293
その他	614,604	299,892
貸倒引当金	△6,700	△18,300
流動資産合計	7,948,652	8,538,349
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,895,241	3,048,488
土地	3,472,326	3,484,452
その他(純額)	2,008,718	2,253,379
有形固定資産合計	8,376,286	8,786,321
無形固定資産	88,079	97,784
投資その他の資産		
投資有価証券	1,270,278	1,305,310
その他	580,960	684,568
貸倒引当金	△1,200	△300
投資その他の資産合計	1,850,039	1,989,579
固定資産合計	10,314,405	10,873,685
資産合計	18,263,057	19,412,034

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,509,555	2,758,956
短期借入金	2,118,400	2,118,400
未払法人税等	102,330	388,432
賞与引当金	457,886	238,560
その他	985,237	1,160,121
流動負債合計	6,173,409	6,664,471
固定負債		
長期借入金	1,156,100	1,357,400
退職給付引当金	132,360	53,685
環境対策引当金	14,513	14,513
その他	473,110	560,564
固定負債合計	1,776,084	1,986,163
負債合計	7,949,493	8,650,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,268	3,921,265
利益剰余金	3,206,117	3,607,133
自己株式	△113,226	△113,249
株主資本合計	10,751,627	11,152,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△31,156	17,276
土地再評価差額金	△406,906	△408,494
評価・換算差額等合計	△438,063	△391,217
純資産合計	10,313,563	10,761,399
負債純資産合計	18,263,057	19,412,034

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)
売上高	17,451,208	17,102,963
売上原価	9,734,848	9,259,470
売上総利益	7,716,359	7,843,492
販売費及び一般管理費	8,363,197	8,082,700
営業損失(△)	△646,837	△239,207
営業外収益		
受取利息	5,035	4,709
受取配当金	24,391	22,042
受取賃貸料	10,297	10,248
利用分量配当金	23,514	42,692
その他	30,532	24,269
営業外収益合計	93,771	103,964
営業外費用		
支払利息	46,333	43,436
賃貸費用	7,028	7,287
その他	13,937	3,635
営業外費用合計	67,300	54,358
経常損失(△)	△620,367	△189,602
特別利益		
固定資産売却益	32,897	278
投資有価証券売却益	6,570	—
貸倒引当金戻入額	12,194	11,689
特別利益合計	51,661	11,968
特別損失		
固定資産除売却損	31,921	18,374
減損損失	—	21,527
退職特別加算金	—	18,194
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	44,251
災害による損失	—	45,170
特別損失合計	31,921	147,517
税引前四半期純損失(△)	△600,626	△325,151
法人税、住民税及び事業税	63,137	66,785
法人税等調整額	△265,559	△137,539
法人税等合計	△202,422	△70,753
四半期純損失(△)	△398,204	△254,397

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)
売上高	4,465,637	4,425,424
売上原価	2,471,692	2,383,279
売上総利益	1,993,944	2,042,144
販売費及び一般管理費	2,714,960	2,687,927
営業損失(△)	△721,015	△645,782
営業外収益		
受取利息	1,259	1,326
受取配当金	683	806
受取賃貸料	3,377	3,416
その他	5,235	7,693
営業外収益合計	10,555	13,242
営業外費用		
支払利息	15,638	14,313
賃貸費用	2,351	2,249
その他	1,313	1,604
営業外費用合計	19,303	18,167
経常損失(△)	△729,762	△650,708
特別利益		
固定資産売却益	1,287	—
貸倒引当金戻入額	5,500	6,580
特別利益合計	6,787	6,580
特別損失		
固定資産除売却損	7,797	3,864
災害による損失	—	250
特別損失合計	7,797	4,114
税引前四半期純損失(△)	△730,773	△648,241
法人税、住民税及び事業税	△151,082	△125,417
法人税等調整額	△144,242	△123,068
法人税等合計	△295,324	△248,485
四半期純損失(△)	△435,448	△399,755

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△600,626	△325,151
減価償却費	768,450	685,438
減損損失	—	21,527
賞与引当金の増減額(△は減少)	250,866	219,326
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,230	78,674
前払年金費用の増減額(△は増加)	259,919	89,806
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35,700	△10,700
支払利息	46,333	43,436
受取利息及び受取配当金	△29,426	△26,752
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,570	—
固定資産除売却損益(△は益)	△975	18,095
売上債権の増減額(△は増加)	2,837,235	2,965,117
たな卸資産の増減額(△は増加)	△385,869	△598,331
仕入債務の増減額(△は減少)	△421,034	△249,400
その他	△120,507	△194,676
小計	2,563,324	2,716,408
利息及び配当金の受取額	29,773	27,317
利息の支払額	△46,542	△43,217
法人税等の支払額	61,644	△594,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,608,200	2,105,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	1,200,000	700,000
有価証券の取得による支出	△700,560	△1,385,819
有価証券の売却及び償還による収入	700,123	1,185,208
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,177,356	△255,487
有形及び無形固定資産の売却による収入	762,502	7,349
投資有価証券の取得による支出	△129,321	△50,831
投資有価証券の売却及び償還による収入	39,898	258
その他	△29,581	17,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534,295	△482,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,200,000	—
長期借入れによる収入	670,000	—
長期借入金の返済による支出	△67,100	△201,300
リース債務の返済による支出	△27,450	△27,450
配当金の支払額	△144,597	△144,223
その他	△22,305	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791,452	△372,948
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,282,452	1,250,817
現金及び現金同等物の期首残高	628,124	1,099,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,910,576	2,349,818

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績を事業部門別商品群別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	前年同四半期比 (%)
干菓子群 (千円)	10,564,446	99.1
洋生菓子群 (千円)	4,658,996	95.4
その他菓子群 (千円)	570,057	102.0
菓子部門計 (千円)	15,793,500	98.1
喫茶・レストラン (千円)	1,309,463	97.2
合計 (千円)	17,102,963	98.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

菓子部門における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。
	(焼菓子) アルカディア、オデット、ティーブレイク、ファヤージュ等。
	(レトルト菓子) ファンシーデザート、白いチーズケーキ、ザ・プリン、フルーツオブフルーツ、凍らせてシャーベット等。
	(詰合せ) ハッピーパーティー、サマーロイヤルタイム、サマーイング等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。
	(ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。
	(半生菓子) ブロードランド、ハイランド等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。